

国立大学法人琉球大学の達成すべき 業務運営に関する目標（中期目標）

国立大学法人琉球大学

平成 30 年 3 月 26 日 文部科学大臣提示

国立大学法人琉球大学 中期目標

(前文) 大学の基本的な目標

1. 琉球大学の目指すところ－Vision－

本学は、“Land Grant University”の理念のもと、地域との共生・協働によって、「地域とともに豊かな未来社会をデザインする大学」を目指すとともに、本学の強みを発揮し、新しい学術領域である Tropical Marine, Medical, and Island Sciences (TIMES：熱帯島嶼・海洋・医学研究)の国際的な拠点として「アジア・太平洋地域の卓越した教育研究拠点となる大学」を目指す。

2. 長期ビジョンの実現に向けて－Mission－

本学は、草創期からの理念を生かし、沖縄や日本、世界に貢献できる教育研究拠点を形成する。

- ① 新たな「地（知）の拠点」として、沖縄や日本、世界に貢献できる人材を育成し輩出する。
- ② 「知の津梁（架け橋）」として、Tropical Marine, Medical, and Island Sciences の一大拠点となり、その成果を沖縄や日本、世界に還元し、平和的な多文化共生社会の実現に貢献する。

3. 第3期中期目標・中期計画の方針－Action－

本学は、第3期中期目標期間において、地域活性化の中核的拠点となるべく社会変革にシなやかに対応できるイノベティブな大学としての歩みを加速する。

- ① 異なるものとの協働により、創造活動を生み出し続けるキャンパスを創出する。
- ② 「創造的な発想力」と、地域や地球規模での新たな課題に対して「果敢に挑戦する力」を持った人材を育成する。
- ③ 産学官連携と国際連携による組織的な連携を通じて多様な力を結集し、大学資源を有効に活用して、教育研究力をグローバルに展開する。

4. 地域社会・国際社会への貢献－Outcome－

【教育を通じた貢献】

国際的に通用する教育の質および学位の質を確保しつつ、諸学を往還する幅広い教養を基礎とし、高度な専門知識と課題探究能力を糧に世界で活躍・貢献できる人材を育成する。

【研究を通じた貢献】

地域社会の持続的発展に必要な基礎的・基盤的研究を推進しつつ、地域特性を踏まえた

研究に基づく独創的な研究成果と新たな価値の創出、地域社会の発展に資する異分野融合や学際的な研究の推進を通じて、アジア・太平洋地域における中核的な学術研究拠点の形成を目指す。

【社会・国際連携を通じた貢献】

「ウチナーンチュ・ネットワーク」をはじめとするグローバル・ネットワークを活用し、産業界、行政機関ならびに国内外の大学・研究機関との連携を強化して、地域の活性化および国際化に貢献する。

【大学ガバナンス】

社会のニーズに対応するため、組織編成や財政基盤の強化、教育研究力の向上に資する取組を戦略的・機動的に展開し、自己点検・評価と外部評価を反映した大学運営を行う。

◆ 中期目標の期間及び教育研究組織

- 1 中期目標の期間 平成 28 年 4 月 1 日～平成 34 年 3 月 31 日
- 2 教育研究組織

この中期目標を達成するため、本学に別表 1 に記載する学部、研究科及び別表 2 に記載する共同利用・共同研究拠点を置く。

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

1 教育に関する目標

(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標

1. 21 世紀型市民として、幅広い知識や高度の専門知識、応用能力、課題解決能力等の獲得を通して普遍的価値を身につけ、地域社会及び国際社会で活躍し、その発展に貢献できる人材を育成する。

(2) 教育の実施体制等に関する目標

2. 学生に広く知識を修得させ、基礎的教養と専門性を連結した応用能力を身につけさせる総合的な実施体制に基づいて、多様な教育資源を活用した大学教育を展開する。

(3) 学生支援に関する目標

3. 学生の安心・安全に配慮し、学修、生活、就職に係る多様できめ細やかな支援を展開する。

(4) 入学者選抜に関する目標

4. 学長のリーダーシップのもと、大学卒業後のキャリア形成を視野に入れた高大接続

システム改革の実現に資する、多面的・総合的な入学者選抜方法に転換する。

2 研究に関する目標

(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標

5. 総合大学としての資源を活かし、多様な基盤的学問分野の活性化を図るとともに、本学の強みとなる熱帯・亜熱帯、島嶼・海洋、琉球・沖縄文化、健康・長寿・国際感染症等の地域特性に根ざした特色ある分野の研究を推進する。アジア・太平洋地域を視野に入れた地域課題の解決や新たな社会的価値の創造に向け、学術ならびに地域にイノベーションをもたらすインパクトのある研究を推進し、研究成果を社会に還元する。

(2) 研究実施体制等に関する目標

6. 基盤的分野並びに本学の強み・特色となる分野において、組織的な研究支援事業を推進するとともに、多様な人材が活躍できる機動的かつ柔軟な研究環境の整備を行う。これを踏まえて、研究者の国際交流・国際共同研究を促進し、アジア・太平洋地域をリードする教育研究拠点大学への歩みを加速する。

3 社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標

7. 地域の産学官が保有する多様な資源を活かし、地域を志向した教育研究を推進する産学官協働の仕組を構築し、地域社会の発展に貢献する人材を育成する。

8. 沖縄の産業活性化及び持続的な自立型経済の実現に向けて、学術的基盤に立脚して地域社会が抱える課題の解決や産業振興に資する取組を推進し、「行動するシンクタンク」として地域再生・活性化に貢献する。

4 その他の目標

(1) グローバル化に関する目標

9. 学生の国際流動性を高める仕組の構築を通じて、世界の様々な地域を舞台に交流と参画を通して、豊かな社会づくりを目指すグローバル人材を育成する。

10. アジア・太平洋地域の教育研究拠点となる大学の実現に向けて、本学の特性と強みを活かして海外とのネットワークを構築するとともに、国内外の多様な取組を通して地域及び国際社会に貢献する。

(2) 附属病院に関する目標

11. 沖縄県地域医療構想における高度急性期医療を担いつつ、地域完結型医療の中核となる。

12. 県民の期待に応えることのできる安心・安全な診療体制を築く。

13. 医療の質の確保及び向上のため、医師主導型臨床研究等質の高い研究を推進する。
14. 沖縄県の地域特性を踏まえ、地域医療を支える多様な医療人を養成する。
15. 継続可能で安定した病院運営のための経営に取り組む。

(3) 附属学校に関する目標

16. 学部・大学院並びに地域の教育機関等と連携協力し、教育に関する先導的・実践的研究及び教育実習等を充実させ、地域の学校教育の質の向上に貢献する。

II 業務運営の改善及び効率化に関する目標

1 組織運営の改善に関する目標

17. 学長のリーダーシップの下、大学資源の効果的な配分を行い、学内外の意見を積極的に取り入れ、戦略的かつ機動的な大学運営を推進する。
18. 人材の多様性や流動性を高めて、教育研究の活性化を図る。

2 教育研究組織の見直しに関する目標

19. 本学の有する強み、特色及び地域ニーズを踏まえ、豊かな未来社会を地域と共に実現していく大学に相応しい教育研究組織づくりを推進する。

3 事務等の効率化・合理化に関する目標

20. 職員の能力向上を図るとともに、事務業務の効率化、省力化、組織編成の見直し等の改善を行う。

III 財務内容の改善に関する目標

1 外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加に関する目標

21. 大型競争的資金及びその他外部資金を戦略的に獲得する。

2 経費の抑制に関する目標

22. 効率的な組織運営に資するため人件費を適正に管理するとともに、管理的経費を抑制する。

3 資産の運用管理の改善に関する目標

23. 大学経営の安定化に資するため、資金を効果的に運用・管理する。

IV 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

1 評価の充実に関する目標

24. 大学の教育研究及び組織運営の改革と改善に繋がる客観的かつ効果的な自己点検・評価活動を行う。

2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標

25. 戦略的広報を強化し、ステークホルダーを視野に入れて大学情報を積極的に発信する。

V その他業務運営に関する重要目標

1 施設設備の整備・活用等に関する目標

26. 教育・研究を活性化するため、既存施設設備の有効活用を促進するとともに、教育研究に即した環境を創出する。

27. 地球環境への配慮や施設運営の効率化のために省エネルギーマネジメントを行う。

2 安全管理に関する目標

28. 大学運営に関し、安全を確保するための措置を行い、労働安全衛生法を踏まえた安全管理体制を堅持する。

3 法令遵守等に関する目標

29. 大学情報資産等の管理徹底を図るための管理体制を再構築し、情報セキュリティ対策を強化する。

30. 適正な大学運営及び本学の社会的信頼の向上を図るため、コンプライアンス体制を整備する。

31. 研究における不正行為及び研究費の不正使用の防止に関し、ガイドラインに基づく適正な管理体制を確立する。

4 上原キャンパス移転に関する目標

32. 国際医療拠点形成にむけ、医学部及び附属病院の移転計画を推進する。

別表1 (学部、研究科等)

学 部	人文社会学部 国際地域創造学部 法文学部 (H30 募集停止) 観光産業科学部 (H30 募集停止) 教育学部 理学部 医学部 工学部 農学部
研 究 科	人文社会科学研究科 観光科学研究科 教育学研究科 医学研究科 保健学研究科 理工学研究科 農学研究科 法務研究科

※鹿児島大学大学院連合農学研究科に参加

別表2 (共同利用・共同研究拠点)

熱帯生物圏研究センター
